



ブックトーク『俳句』 3年対象			
場面	原稿	提示資料	生徒の反応
1	<p>俳句は世界で最も短い詩として親しまれています。五・七・五の17音で作りますよね。少ないからこそ、磨き抜かれた言葉で表現してあります。</p> <p>言葉と言葉の間にある言葉になっていない風景を、自分たちで見つけていくことに俳句を楽しむ醍醐味があるのですが…</p> <p>そうはいつでも難しい、という人のために、今日は俳句にまつわるお話をします。</p>		
2	<p>俳句は江戸時代くらいから盛んになってきたものです。それまでは短歌と言われる、五・七・五・七・七の31音で作られた歌が多くありました。</p> <p>辞世の句って知っていますか？</p> <p>この世を去る時に残す最後の言葉で、詩や短歌や俳句など、その形式は自由です。</p> <p>江戸時代以前は短歌による辞世の句が多いのに対して、江戸時代以降には俳句を残している人も増えてきます。</p> <p>この本には有名な人たちの辞世の句が載っています。</p> <p>皆さんが知っている人も残していますよ。たとえば、『富嶽三十六景』という富士山の絵で有名な江戸時代の画家 葛飾北斎は、</p> <p>「人魂で ゆく気散じや 夏の原」というものを残しています。気散じとは散歩とかピクニックという意味。これは、「人魂になって、夏の野原に散歩にでもいくな」という意味で、人生50年と言われた江戸時代にあって、90歳という年まで生き、たくさんの作品を残した、北斎の性格をよく表しています。</p> <p>この句は、季語は「夏の原」ですね。季節は夏。</p> <p>一方で、同じ江戸時代の俳人松尾芭蕉の最後の句は、</p> <p>「旅に病んで 夢は枯野を かけめぐる」です。</p> <p>これは松尾芭蕉が奥の細道の旅を終えて、その後大阪に行きますが、そこで体調を崩して寝込んだときにこの句を読みました。</p> <p>「旅の途中で病にかかり、旅を続けることはできないが、夢の中で旅に出ていることだよ」という句です。</p> <p>その後、芭蕉は亡くなってしまったので、結果これが最後の句となりました。</p> <p>人生の最期を迎えるに当たり、北斎はどこか気楽な感じがするのに対して、芭蕉の句はまだ旅がしたかったという思いが見えますね。</p> <p>この句の季語は「枯野」です。季節は冬です。</p>	 <p>北斎の俳句カード</p>  <p>芭蕉の俳句カード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「葛飾北斎」や「松尾芭蕉」の名前を生徒から引き出したかったので、問いかけ形式にした。 ・高杉晋作の反応も薄かった。あまり知らないようだった。 ・戦争の話はもう少し聞きたいという感想があった。

<p>青々とした緑にエネルギーが満ちる夏と、植物が茶色に枯れていく冬。その句が詠まれた時期もあるのですが、季語からも二句の対照的な様子がうかがえます。</p> <p>松尾芭蕉については後からまた学習するので、その時にでも詳しく話ができたらいいなと思います。</p> <p>幕末の志士として有名な高杉晋作は、 「おもしろき こともなき世を おもしろく」と残しています。 この句を詠んだとき、そばにいた野村望東尼という人は続けて、 「住みなすものは心なりけり」と読みました。 これで、この歌の意味は、「おもしろくもないこの世の中をおもしろく生きるのは、その人の心がけ次第だよ」という意味です。</p> <p>激動の幕末を生き、明治維新直前で結核により亡くなった彼は、何を思ってこの句を残したのでしょうか。ちなみにこれには季語はないようです。</p> <p>夏が近づいてくると、戦争について学習する機会が増えてきます。 神風特攻隊って聞いたことがあるでしょう？飛行機もろとも敵艦に突撃し、命を散らせていった兵士たちです。彼らは皆さんより少し年上の17歳くらいから25歳くらいの人たちでした。彼らの中にも出撃前に家族に宛てた手紙の中などで辞世の句を詠んだ人もいます。お国のために死ぬということを名誉だと信じていた時代、どんな言葉を残したのか、機会があったら見てみてください。</p>		
<p>3 さて、ここからはある一人の人物にスポットを当ててみましょう。 教科書にも紹介されていました、正岡子規。覚えていますか？言ってみましょう。 子規といえば、病気がちで、早くに亡くなった人という印象が強くありますが、彼は病気になる前は野球が大好きで自分もよく野球をしていました。 日本に野球が入ってきたのは明治4年。子規はこの新しいスポーツの虜になりました。ポジションはキャッチャーだったそうです。子規というのは雅号（ペンネーム）ですから、本名がちやんとあります。子規の本名は常規（つねのり）、子どもの頃の名前は昇（のぼる）ですが、野球が大好きなあまり、雅号を「野球（のぼーる）」として、野球についての歌や俳句をたくさん作りました。他にも、バッター・ランナー・フォアボール・ストレートを、打者・走者・四球・直球と訳したのも彼です。その功績をたたえ、2002年に野球の殿堂入りを果たしました。正岡子規は1902年に亡くなっていますから、ちょうど100年後のことです。</p>	 <p>子規の名前カード</p>	<p>・正岡子規については、「病気の寝たきりの人」という印象を生徒は持っているということだったので、そうではない元気だったころの子規の話を聞いて、驚いたという生徒もいた。</p>

<p>また、夏目漱石とは大学の同級生で、親友と呼べる関係で、漱石は子規に俳句を教えてもらったのだそうです。</p> <p>この本には夏目漱石が語る子規の話が載っています。</p> <p>夏目漱石の著書『坊ちゃん』は舞台が四国の松山ですが、夏目漱石も松山で先生をした経験があります。その時、正岡子規は漱石の家を訪ねていき、しばらく居候しました。</p> <p>肺の病気にかかっていた子規ですが、自分で勝手にウナギのかば焼きの出前を頼んでは食べていたそうです。しかも、漱石の家を出るとき、その代金を払って〜と頼んだ挙句、東京に戻るためにお金を借り、そのお金は奈良で使ってしまった〜と手紙をよこしてきたそうです。</p> <p>結構食いしん坊だったという話も伝わっています。</p> <p>病気をして、寝たきりになり、若くして亡くなっていったので、まじめで、どこか悲しみの色の強い人物のように感じられますが、そうではない子規の姿を知ってみると、俳句の見え方も変わってくるかもしれません。</p> <p>この『笑う子規』ではそんな明るい子規の俳句を紹介しています。はじめに書いてあるのですが、まじめな子規研究には役に立たない1冊だそうです。でも、俳句は「楽しむためのもの」でもありますから、十分楽しめます。この本を編集した天野さんと南さんの解説も、のびのびと自由で面白いです。</p>		
<p>4 さあ昔の人ばかりではなくて、皆の同世代の俳句も見いきましょう。</p> <p>この『部活で俳句』はなんと男子校のダンスをしたい男の子たちが、顧問になってくれと頼んだ先生が、俳句同好会の顧問だったために、「俳句」と「ダンス」のコラボレーションをすることになりました。ちなみにダンスのジャンルはヒップホップ。どうやってコラボレーションするのでしょうか。この先生の考えでは、こんなイメージです。(コラボレーション案を紹介する)</p> <p>でね、このダンスがしたい男の子たち、ダンスできるなら俳句作ってもいいよと OK を出します。「ワルばかりの学校で」って書いてあるのだけど、素直でいい子たちだよ。自分のしたい事ばかり押し通すわけじゃなくて、ちゃんとこっちの要求ものんだところが、いい男で感じがいいですね。</p> <p>でも、俳句なんかどうやって作るかわからない。そこで、この先生と学校内を散歩しながら俳句を読みます。ぶらぶらとしながら、目に入るもので俳句を読む「^{ぎんこう}吟行」を行いました。</p> <p>そしたらね、なかなか上手に詠むことができました。先生のアドバイスも段階を踏んでしてくれるので、こちらまで簡単に俳句を作れる気になります。</p> <p>俳句は日常をよむもの。無理に昔の美しい言葉を使わなくても、今の日常を今の言葉で読めばいいのです。</p>		<p>・もう少し興味を持つのかと思ったが、反応が薄い。もっとうまく魅力を伝える必要があると思った。</p>

<p>テーマはたくさんあります。部活、勉強、受験、学校生活、家族。もっと広く戦争とか恋とか、考えたことを俳句にしてもいいのです。この本の中には、結構カタカナを使った句も出てきます。</p> <p>またこの「文集 いずみ」は佐世保市内の中学生の作品が載っています。皆さんの兄弟の作品も載っていたりしませんか？この「いずみ」は図書館に置いていますので、見たい人はどうぞ。</p>		
<p>5 俳句は世界でも作られています。英語で作る俳句は三行詩の形をとります。日本人は俳句を難しく考えていますが、外国の子供たちは自由に書いているのだそうです。</p> <p>この中には、世界の子供たちが書いた、HAIKU が紹介してありました。単語さえ知っていれば、皆さんにも簡単にかけるのではないのでしょうか。</p>		
<p>自然を詠んだ俳句を、その風景の写真とともに想像を膨らませながら鑑賞するのもよし、一人の俳人について知り、鑑賞するのもよし、自分で作ってみるもよし。難しいからと食わず嫌いをすることなく、自分の感覚で楽しんでください。</p> <p>これでブックトークを終わりますが、えー、ここで私も一句。(コホンと咳払いして視線を集中させる) 「扇風機 ついてねむりに 誘われる」…だった人はいませんでしたか？ ありがとうございました。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・俳句を発表すると、拍手をくれたクラスもあった。 ・うとうとしている生徒がいると笑いも起きた。 ・5クラスのうち、最後に実施したクラスでは、違う俳句を詠んだ。「冷風機 あるのに使えぬ かなしさよ」

作成 佐世保市立大野中学校 司書 梶川 由香理